

議会だより

号外

令和8年
4月発行

題字：浦崎 直哉 教育長



町制施行50周年記念事業 「子ども議会」開催!



～主な内容～

子ども議会開催要項、スケジュール……………P2

町政を問う 17人の子ども議員が一般質問……………P2～P11

子ども議会を終えて……………P11～P12

嘉手納町議会ホームページ

嘉手納町議会

検索



町議会を傍聴しましょう! 定例会は、3・6・9・12月に開かれます。

子ども議会開催要項(一部抜粋)

【趣 旨】 町制施行50周年を記念し、町の教育理念を体現する場として、子ども議会を開催する。未来の嘉手納町を担う子どもたちが、町政に対して自らの考えを提言し議論を深めることで、ふるさと嘉手納への誇りと、主体的に行動する自立心を育む。

【テ ー マ】 未来の嘉手納を創る ～私たちが考える、誇れるまちづくり～

【参加対象者】 町内の小学校6年生、中学校1・2年生(3年生も可)

【実施体制】 (主催)嘉手納町教育委員会、(共催)嘉手納町、嘉手納町議会

子ども議会スケジュール

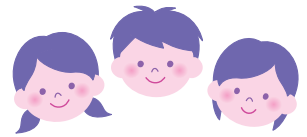
令和7年12月23日 任命証書授与式

令和8年1月20日 一般質問提出期限

1月28日 リハーサル(1回目) 議長選挙、副議長選挙、議席の指定

2月12日 リハーサル(2回目)

2月18日 子ども議会本会議 会議録署名議員の指名、会期の決定、一般質問



町政を問う

題字：德里 織音 議長

17人の子ども議員が一般質問

(質問順)

むら やま みず き 村山瑞季 P3
かでなっ子ハローワークについて

たま き ゆう 玉城悠 P3
嘉手納公園について

まえ だ しゅん 前田瞬 P4
嘉手納野球場について

みや ぎ き な 宮城稀菜 P4
コミュニティバスの設置について

なかそね す い 仲宗根千心 P5
比謝川の自然環境の活用について

おか はら は な 岳原花菜 P5
嘉手納町の防犯について

かわ かみ こ こ 川上湖々 P6
ゴミ拾い大会について

やま しろ りん こ 山城凜子 P6
嘉手納基地の面積削減について

の ぎと こ ゆき 野里小幸 P7
町の人口減少について

ひ が み お り 比嘉美音莉 P7
嘉手納町の交通安全について

まつ むら か つき 松村香月 P8
嘉手納町のゴミ問題について

おお しろ くれ は 大城紅葉 P8
嘉手納町のイベントについて

みや ひら ゆ き 宮平優希 P9
屋良城跡公園について

さい どう ち さ 齋藤千紗 P9
ネーブルカデナの活用について

また よし あかり 又吉明 P10
基地の子どもたちとの交流イベントについて

たま き め る 玉置愛琉 P10
夏の暑さ対策について

とく ぎと り ん 德里織音 P11
自習室の拡大について



1番 村山 瑞季
むらやま みずき
嘉手納小学校6年

かでなっ子ハローワーク
について

令和6年からスタートし、人との関わり方で大切なことや将来について考えることができず。しかし、私の身の周りでは応募方法などが分からず、参加できていない人が多い。

問 ハローワーク参加者割合は。

答 **教育指導課主幹** 令和7年度は、小学5年生26%、小学6年生13%、中学1年生22%、中学2年生26%、中学3年生52%。

問 ハローワークの説明会や応募方法の確認などができるチャットなどを作成できないか。

答 **教育指導課主幹** タブレットのメッセージ機能で質問を受け付けているが、周知には限界がある。

ある。学校やお友達の間で「知らない人」に伝えることが改善に繋がると考えている。

嘉手納基地騒音問題について

嘉手納町の82%を占める嘉手納基地は私たちの生活に大きな影響を与えており、基地の1000デシベルを超える騒音問題を解決する必要があると考える。

問 騒音問題に対応するための規定はあるのか。

答 **基地涉外課長** 日米間で結ばれた規定があり嘉手納町は厳しく守るようをお願いしている。

問 騒音を最小限に抑えるために住宅や公共施設などの騒音対策や、飛行場所を小中学校から遠ざけた場所に指定することは可能なのか。

答 **基地涉外課長** 嘉手納町では、ほとんどの住宅や公共施設で防音工事が実施されており、工事に係る費用を国が補助している。また、飛行機はできるだけ住宅地から離れた場所を飛ばすようお願いしている。



2番 玉城 悠
たまき ゆう
嘉手納小学校6年

嘉手納公園について

僕は嘉手納公園によく遊びに行くが、ゴミ箱がない。持ち帰るためにゴミを置きっぱなしになると、風で飛んでいくことがある。僕はゴミを家に持ち帰りましたが、ゴミをそのまま放置している人もいた。ゴミ箱を設置する問題もあり、家庭ゴミを捨てる人がいる。調べてみると、公園のゴミ箱に家庭ゴミを捨てるのは不法投棄になり、犯罪なので、ゴミ箱に捨てたら警察に通報すればいいと思う。

問 嘉手納公園にゴミ箱を設置することはできるか。

答 **都市建設課長** 結論から申し上げると、ゴミ箱の設置は行わない。理由は、過去に公園にゴミ箱を設置していたとき、家庭ゴミが山のように捨てられることがあった。山のように捨てられたゴミは、みなさんが払ってくれる税金を使って処分しないといけないことから、不公平になってしまう。このことから、ゴミを持ち帰るよう公園内のサイン看板などをお願いしている。

問 嘉手納公園でバスケットをしているときに、ボールが柵を越えてしまうことが多々ある。そうなるとお墓に取りに行かないといけない。これはとても危険なことだと思う。北谷町の馬場公園に遊びに行ったときに、バスケットコートの後ろに高い柵を設置する工夫がされていた。嘉手納町でも高い柵を設置することができないか。

答 **都市建設課長** 嘉手納公園については、付近住民の利用をメインに考えている。このことから、その地域の方々から高い柵を設置するよう要望があれば設置することは可能であると考える。



3番 まえだ しゅん
前田 瞬
嘉手納中学校2年

嘉手納野球場について

令和7年4月3日に完成した野球場は沖縄県初の全面人工芝の野球場であり、プロ野球のキャンプ地としても利用されている。しかし、嘉手納町には観光スポットに比謝川や道の駅か
でななどがあるが、多くあるとは言えない。また、人口も年々減少している。私は昨年度から、かでなっ子ハローワークの取材班として嘉手納町のがんばる企業を回って、嘉手納町の良
いとところを多く発見した。もっと、嘉手納町にたくさんの方の観光客や人が訪れてほしいと思う。

問 野球場を造った費用はどのくらいか。そして、野球以外の活用についてどうお考えか。

答 **社会教育課長** 野球場を造った費用は約54億円。この野球場を建設する際のコンセプトとして、野球だけではなく、町民のみなさまの幅広いレクリエーションや交流の場として活用することをあらかじめ想定して整備した。

実際にオープンしてからこれまでの間にも、野球だけでなく高校生の体育の授業や、ハワイと町内のシニアチームがソフトボールの交流試合を行ったり、小学生の地域学習や遠足の場所として利用されるなどの実績がある。

子どもたちが施設を見学したり、元気に走り回ったりする姿が見られ、多目的な活用の第一歩を踏み出している。この野球場を、野球をする人だけの場所にするのではなく、「ここでこんなことをしてみたい」という熱意を持ったみなさんが、活用できる場所にしていきたいと考えている。



4番 みやぎ きな
宮城 稀菜
嘉手納中学校2年

コミュニティバスの設置について

近隣の読谷村や沖縄市などはコミュニティバスがあるが、本町にはない。町民が安心して不便なく暮らせる町ではないと考える。夏は熱中症のリスクがあり、冬は部活帰りの暗い夜道で不審者の出没も心配される。

問 通学区域内を中心に運行し、移動の安全確保と高齢者の交通手段となる「100円バス」の設置を検討できないか。

答 **町民保険課長** 令和7年度に、15歳以上の町民2000名を対象とした、公共交通に関するアンケート調査を実施した。回収率は約34%で、現在、その意見を3月中にまとめるべく作

業を進めているところである。議員提案の「100円バス」を含め、課題解決に向け調査研究し、実証実験などの実施を検討していく予定である。

嘉手納町における医療体制について

町内では、小児科や内科などの診療所が十分とはいえない状態である。私自身、急な発熱時に遠方の病院まで行かなければならず、体調が悪い中で十分に休むことも、勉強時間を確保することもできない経験をした。

問 誰もが安心して暮らすために、診療所の設置や医療機関誘致を積極的にすべきではないか。

答 **企画財政課長** 第5次嘉手納町総合計画に基づき企業誘致を推進しているが、医療機関の積極的な誘致については方向性が示されていない。しかし、町民アンケートで住みにくさの理由と連携しながら、医療体制の確保・充実に努めたい。



なかそね すい
5番 仲宗根 千心
屋良小学校6年

比謝川の自然環境の

活用について

去年比謝川で初めてカヌーに乗ってとても楽しかった。また、生き物の観察をして詳しく知りたいと思った。

観光客は増えているが、ただ通り過ぎるだけの観光になっていないかと感じている。

問 比謝川の自然を守るためにどんな取り組みをしているか。

答 都市建設課長 嘉手納町において、近くで工事をするときは赤土が流れないように対策をしっかりと行い、異常が発見された際には県へ連絡し、調査や対策をもらうなど、比謝川の自然保全に努めている。

問 観光客を増やすための工夫

や、比謝川が他の川に絶対負けない独自の魅力は何か。

答 産業環境課長 カヤツクツアーの比謝川の魅力についての説明会を開催したり、SNSなどでツアーの様子などをお知らせしている。事業者が保全利用協定を結び、自然を壊さないようにしている。沖縄本島最大の流域面積を持ち様々な種類の生き物が生息しており、カヤツクに乗りながら観察することができ

る。また、比謝川は内陸にあるため風が強い日でも波が穏やかで安心して乗ることができ

問 提案した体験型ツアーを行うことは可能か。

答 産業環境課長 比謝橋下流側で堰（せき）を撤去する工事を行っており、その手前までは可能。山原船の歴史やルート巡りは事業者を確認し、まだ行っていないかったら提案したい。

問 私の提案はどう思うか。

答 産業環境課長 とても良い提案だと思う。今後ツアーを通して訪れる人たちに嘉手納町の魅力などを伝えていきたい。



おかはら はな
6番 岳原 花菜
屋良小学校6年

嘉手納町の防犯について

6年生になって先生から、不審者に気をつけてと聞くことが増えた。そこで、不審者目撃情報

を調べた。令和4年度の学校の不審者目撃情報は2件。令和7年12月時点は11件と、小学校の近くで不審者が多数いると考えられる。また、登校中はボランティアで道路に立ってくれ

る人がいるけど、下校中はいないため少し怖いと感じた。道が暗いし、防犯灯も少ないから下校中や遊んだ時の帰り道はやっぱり怖いと感じる。

問 嘉手納町は、不審者を減らす対策はしているのか。そして、この対策をしっかりと実行できているのだろうか。私は、パンダ

公園付近の道は特に暗いと感じた。防犯灯を置くことで道が明るくなり、下校中や遊んだあとの帰り道が安心できるようになる。このような対策をしてもつと住みやすい嘉手納町になることを願う。

答 都市建設課長 嘉手納町の防犯灯について、1点目は、防犯灯は電気が必要なことから電柱がある側に設置を行っている。つまり、道路の片側だけに付くことがある。パンダ公園付近はそのような状況になっている。

2点目は、防犯灯にはLEDが使用されていて、その性質から防犯灯の真下が特に明るくなっている。このことから、防犯灯が付いている道の反対側や防犯灯と防犯灯との間が暗く感じることがある。

他の市町村と比べると嘉手納町は比較的防犯灯が多い町となっている。地域からのご要望があれば、調査の結果、必要があれば防犯灯を増やすことも可能となっている。



かわかみ ここ
7番 川上 湖々
嘉手納中学校1年

ゴミ拾い大会について

比謝川周辺道路、嘉手納公園にはたくさんゴミがあり、それがとても気になったため、小学6年生の頃、友達とゴミ拾いをしていました。ゴミ拾いをして、自分たちで汚かった所をキレイにしたという達成感や町をキレイにしているという自己肯定感がアップを共有したいと思った。

問 楽しみながら嘉手納町をキレイにするゴミ拾い大会についてどう考えるか。

答 産業環境課長 環境美化に努める取り組みをしているが、町民一人ひとりのゴミに対する意識が変わるゴミ拾い大会のようなものは開催していないため、すばらしいイベントだと考える。

ネーブルのフリマについて

ネーブルカデナはかなり来客数が減ったと感じる。活気を取り戻すため、月2回平日の子育て支援フリーマーケットを土日に開催し、学生でも参加できるようにすることで来客数が増えると思う。また、スライムやアクセサリー作りなどの体験型ブースを入れることで、子どもたちがたくさん集まると考えた。

問 このネーブルカデナのフリーマーケットは実施可能か。

答 産業環境課長 ネーブルカデナのフリマは令和5年度までは「ごちゃまぜフェスタ」、令和6年度は「マミーズマーケット」として実施していた。令和7年度はイベント開催をお休みし、令和8年度からの再開を考えているとのことである。今回の提案を、マミーズマーケットの主催者にお話ししたところ、とてもいい提案で興味があるとのことであった。主催者としてしっかり打ち合わせをすれば実施できるのではないかと思う。



やましろ りんこ
8番 山城 凜子
嘉手納中学校1年

嘉手納基地の

面積削減について

嘉手納基地の面積は町の82%、町民が暮らしているのは18%。

基地が広く、町民が暮らしている場所には建物が密集している。

問 基地の面積を狭くすると住宅や子どもの遊び場などを作ることができ、過ごしやすい町になると思いますがどう考えるか。

答 企画財政課長 嘉手納町は活用できる土地が狭く新たな土地が必要となった際は基地の共同使用などで土地を確保してきました。今後も土地所有者と合意形成を図り、軍用地の返還や共同使用を求めていく必要がある。

しかし、弾薬庫地区と飛行場に挟まれる形で町が形成されて

いるため、基地の面積が削減し町の面積が拡大すると、騒音や弾薬庫に近づくことになりリスクを伴う。また、基地は返還の用途がたっていないことから容易なことではない。町のまちづくりの課題の改善を図るため検討の努力を続けていきたい。

嘉手納基地を活かした

イベントについて

問 面積削減ができなくても、嘉手納基地を魅力的にすることができると思う。基地の中に入れる交流イベントやフリマなどを行ってほしいが可能か。イベントを開催する予定はあるか。

答 産業環境課長 イベントは、嘉手納基地でアメリカ・フェスト、普天間基地でフライトライオン・フェアを毎年実施しており、誰でも基地の中に入る事ができる。フリマは以前は沖縄市で開催していたが現在は開催していない。北谷町のキャンプ・フォスターでは月に数回フリマを開催している。



のざとこゆき
9番 野里 小幸
屋良小学校6年

町の人口減少について

嘉手納町の世帯数は、平成25年度から令和7年度まで約5500世帯前後とあまり変わっていないが、人口は10000人程度減少している。それと並行して、出生数や転入数も減少傾向にある。

問 嘉手納町はどのような対応策を取っているか。また、令和4年度から外国人住民が増加傾向だがその理由は何か。

答 企画財政課長 町の人口減少は非常に厳しい状況である。人口減少させないようにすることは町の最も重要な仕事である。人口減少の要因として、子育てをするための家や土地が足りないことだと考えている。



ひがみおり
10番 比嘉 美音莉
嘉手納小学校6年

嘉手納町の交通安全について

そこで町は支援策として、一軒家を購入する者に対し100万円を補助する仕組みや、町の土地を住宅地として整備する準備を進めている。さらに、町内の学校給食の無償化や、高校卒業までの医療費の全額助成に取り組み、「沖縄で一番子育てがしやすい町」を目指している。

外国人住民が増加していることは、日本全体で外国から働きに来る人を受け入れる体制を取っているからだと考える。

嘉手納町にスイーツ専門店が少ないことについて

問 嘉手納町にはスイーツ専門店が少ない。専門店が増えることで、先ほどの人口減少の解決策の一つになるのではないか。事業者に対しての支援や広告、誘致をどのように行っているか。

答 産業環境課長 事業者に対する支援として、家賃、人件費、改装費の補助を行っている。また、経営に関して専門家によるアドバイスなども行っている。

は、地域の人からの要望を受けて設置を行っている。

嘉手納町の防災について

令和6年4月3日、私が5年生に入る前の春休みに津波警報が鳴った。そのとき、妹を怖がらせないよう弟とがんばった。警報が解除されたとき、妹も弟もホッとした顔をしていたので他にも怖い思いをしている人を助けたいと思った。そこで、地域での避難訓練、防災の活動が必要ではないかと考えた。

私たちの毎日歩く通学路。安全対策として、歩道が車道より1段高くなっていると危険があるが、ガードレールの方が危険が低くなると思われる。ガードレールがあれば、負傷や損傷が軽減、直接的な死亡率を減らせるのではないか。

問 ガードレールの設置についてどうお考えか。

答 都市建設課長 安全対策としてとても効果的。ガードレールと同じ役割のパイプ型の柵もあり、「車両用防護柵」という設置については「防護柵の設置基準」という全国共通ルールに基づき設置を行っている。設置されていない場所について

問 町では防災のために避難訓練や取り組んでいることはあるか。

答 総務課長 毎年11月5日の津波防災の日に合わせて、町民対象の避難訓練を行っている。小中学校は学校独自で行っている。

問 私たち小学生も、小さい子やお年寄りを助けることができる。小学生や中学生もいっしょに訓練はできないか。

答 総務課長 今後自治会を対象にした避難訓練を実施する際には、是非ご協力いただきたい。



まつむら かつき
11番 松村 香月
嘉手納小学校6年

嘉手納町のゴミ問題

について

嘉手納町でもゴミが多く、問題になっている。ポイ捨てされており、町が整っていないと思われ、私たちも嫌な思いをしている。町としてジモティーの活用をしていることは分かった。

問 公園や比謝川のゴミをなくすために、嘉手納町が取り組んでいることは何か。

答 産業環境課長 嘉手納町では、個人や民間会社に清掃をお願いしている。美化ボランティア制度があり、地域で清掃を行う組織に対し費用の一部を支援している。清掃団体が増えることにより、ゴミが放置される時間が少なくなることが挙げられる。

ゴミ拾いイベントについて

ゴミ問題を解決するために東京などのスポGOMIを参考にしたゴミ拾いイベントを提案する。スポGOMIとはゴミ拾いのスポーツで、重さ、量、種類によって点数をつける。これをする事で環境意識が高くなり、ゴミ拾いに取り組めるようになる。そして、優勝賞品はお菓子や商品券がいいと思う。

問 このイベントの開催と、優勝賞品をあげることは可能か。また、町からゴミ拾い用の手袋を支給することは可能か。

答 産業環境課長 嘉手納町では「区民一斉清掃」で環境美化に取り組んできた。これまでの「義務的な清掃」から「自発的な清掃」へ変えることはいいと思う。「区民一斉清掃」を活用できないか自治会と相談したい。

優勝賞品は、お菓子や商品券の他に、嘉手納町特産品詰め合わせもいいと思う。また、参加者へ軍手やゴミ袋などの消耗品を支給することは可能である。



おおしろ くれは
12番 大城 紅葉
嘉手納中学校2年

嘉手納町のイベントについて

嘉手納町では現在、町最大のイベントとして「野國總管まつり」を開催しており、約3万人の方が訪れてくれている。しかし、他の「はいさい！いちゃりば祭」は数千人、「産業まつり」は人数は不明だがまだまだ広がっているとはいえない。

問 より多くの人に来てもらうためにどのような工夫を。

答 産業環境課長 「はいさい！いちゃりば祭」は「量より質」を重視し、町民が、文化や社会教育を体験する学びの場として運営している。今後も、かになつ子との協働による体験型イベントとして充実させていく。「産業まつり」の令和6年度の

比謝川の活用について

来場者は5000人超。LINEや大型ビジョンなどで周知を強化中だが、会場の「道の駅かでな」の駐車場不足が課題。集客増に向けては、会場変更も視野に入れ、検討を進める。

問 比謝川カヌー体験の観光客数は約1万人と増えつつあるが、滞在時間が短い課題もある。イルミネーションをつけたりお店を増やすといいと思うが、今後どのような設備を考えているか。

答 産業環境課長 町が管理するのは比謝川自然体験センターや遊歩道周辺に限られる。提案のイルミネーションは、6月〜10月に生息する蛍への影響から実施は困難と考えられる。

しかし、滞在時間の短さは課題と認識しており、観光客がより長く滞在し、嘉手納の魅力を感じられるような方策を今後検討していく。また、遊覧船の活用など、新たな可能性について模索中である。



13番 みやひら 宮平 ゆき 優希
屋良小学校6年

屋良城跡公園について

屋良城跡公園は、近くに小学校や幼稚園などがあり、整備したり遊具を設置することで、もっといろんな人に遊びに来てもらいたいと思う。屋良城跡公園は町の人にとって身近で大切な場所だと思う。

一方で、公園の中を歩いてみると、段差のある道や滑りやすい場所がある。また、城跡を生かして造られているため、地面がでこぼこしている場所もある。そのような場所では、歩くときに足元に気をつけないと転ぶ恐れがある。特に、雨の次の日などは地面が滑りやすく、より危ないと感じる。さらに、公園の中は夕方になると暗くなる

場所もある。明るさが足りないところが見えにくくなり、安全に歩くことが難しくなる。

問 屋良城跡公園の中にある道や明るさなど、安全に安心して利用できるようにするための対策をどのように考えているか。

答 都市建設課長 屋良城跡公園は、もっと色々な人に遊びに来てもらえるように現在、再整備のための準備をしている。

今年、公園にある大切な文化財を調べる調査を行い、その調査が終わった後に、公園の再整備を進めていく予定。公園を整備するときには、利用者が安心して安全に使えるようにしたいと考えている。

具体的には、今は少し暗くてお墓があり怖いと感じる通路があるので、通路からお墓が見えないよう工夫して壁を作ったり、外灯を増やして周辺を明るくしたり、滑りにくい材料を使用して安心して歩ける通路にしたい。「誰もが楽しめる、自然と歴史・文化を感じる」公園を整備していきたいと考えている。



14番 さいとう 齋藤 ちか 千紗
嘉手納中学校1年

ネーブルカデナの活用について

現在のネーブルカデナの利用者、来場者は全盛期と比べ圧倒的に少なくなっており、それに伴ってネーブルカデナ内のスペースが有り余っていると感じている。また、嘉手納町を全体的に見てもフリースペースが少ないと感じており、夏場や冬場、体調が悪くなりやすい時期などに外遊びする際、屋内でのフリースペースが欲しいと思う

ことが多々あるので、ネーブルカデナ内に残っているスペースをうまく活用してフリースペースとして作るのいいと思う。また、これにより、フリースペースが勉強場所、休憩場所となり、嘉手納町の人だけでなく、観光客や他の地域からの来場者も増えると考えられる。人々がフリースペースを活用することによって交流の場を設けることができ、ネーブルカデナ内にある自動販売機、お店などの利用者もフリースペースができる前に比べれば増えると思うので、収益も上がると思う。

問 ネーブルカデナにフリースペースを作り、うまく活用するといった提案について、どう考えるか。

答 産業環境課長 まず始めに、ネーブルカデナは嘉手納町が運営している施設ではなく、株式会社ホームセンタータバタが運営しているため、今回の提案内容に対して嘉手納町がお答えすることはできかねる。

しかし、今回の提案内容はとてもいいものだと思うので、いただいた提案内容をどのようにすればホームセンタータバタにお伝えできるのかを、教育委員会と一緒に考えていきたい。



またよし あかり
15番 又吉 明
嘉手納中学校1年

基地の子どもたちとの

交流イベントについて

嘉手納町には嘉手納基地がある。基地の中はアメリカで、日本ではない国だ。基地の子どもたちと交流がないので、基地の中の文化をよく知らない。

問 言語に関係なく遊べるゲームやスポーツイベント、沖縄の文化であるエイサーと一緒に踊るなど交換イベントは可能か。

答 社会教育課長 嘉手納基地側との調整は必要となるが、開催は可能である。

答 中央公民館長 沖縄文化への理解を深め、子ども同士心の交流を育む大変意義のある取り組みだと考える。文化交流を将来的に取り組んで行きたい。

特産物の野国いもについて

嘉手納町は特産物であるおいしい野国いもをもっと商品化したり、いも掘り体験や、学校や施設に植えて食べる体験を増やしてはどうかと思う。

問 もっと広めるためにどのような取り組みを考えているか。

答 産業環境課長 野国いもは本町の特産物となっておらず、生産量も少ない。その要因として、嘉手納町の面積の約82%が嘉手納基地で、いもを栽培するために必要な耕地面積が足りないことが挙げられる。そのため、商品化を進める取り組みも難しい。

一方、幼稚園や小学校においては、野国いもの植え付け・栽培・収穫を行ったり、町内農家のいも部会では増殖させる取り組みを行っている。今後の取り組みとして、県から受け取った苗を町内農家へ普及させ、安定して生産できるようにした際には、嘉手納産の野国いもとしての活用方法を検討していく。



たまき める
16番 玉置 愛琉
嘉手納中学校2年

夏の暑さ対策について

問 現在、沖縄県の気候は大きく変化しており、深刻な暑さが問題となっている。嘉手納町では暑さ対策を何か行っているか。

答 町民保険課長 熱中症関連のポスター提示や町のホームページ、広報誌などに熱中症に関する記事を載せ、町民に向けて予防方法などを周知している。

問 クーリングシエルトの設置を提案する。設置についてどう考えるか。

答 町民保険課長 法律の設置義務事項ではないため、すぐにクーリングシエルトとして指定することは考えていないが、今後必要と判断した場合には関係する課と調整して検討したい。

問 どのような場面で必要だと考えるか。

答 町民保険課長 熱中症特別警戒アラートが35以上の発表があった際には必要だと判断し、設置する予定である。

タブレット端末や生成AIを活用した授業について

現在嘉手納町ではタブレット端末や生成AIを活用した授業が進んでおり、学習しやすい環境が整えられていると感じている。しかし、パソコンを活用した授業は従来より覚えることが難しく困っているとの声も聞く。

問 そのような声を聞いて、どう考え、どう改善していくか。

答 教育指導課主幹 教育委員会としては「手書き」と「デジタル」のどちらか一方だけを使用する、という指導はしていない。大切なのは児童生徒が「情報活用能力」を身につけること。操作などで困り感があることについては、改善点として先生方と協議していきたい。



とくざと りん
17番 德里 織音
嘉手納中学校2年

自習室の拡大について

問 ロータリープラザ5階の自習室は多くの町内外の人に利用されている一方、満席で利用できないことが多々ある。嘉手納町の学生が優先的に、気軽に利用できる場所を増やすことはできないのか。

答 中央公民館長 自習室の拡大の要望は施設として大変うれしく、学習意欲の高さを感じている。自習室は大学生や一般利用者にも多く利用されており、時間帯により満席に近い状況が見受けられる。一方、施設の構造上、学習室として拡張できるスペースは限られており、大規模な拡大は難しい。今後は利用実態の把握を進めながら、若い世

代の学びを支える場として、できる工夫を重ねていきたい。また、かでな未来館3階共用スペースを利用する際は有料になっており、子どもたちにとって負担が大きいと考えている。そのため、テスト期間や長期休暇などの一定期間、町内在住の子どもたちについては使用料を免除するなど検討していく。

電子書籍の導入について

問 中学生になり、本を読む機会が減った。その背景として、図書館に行けるほどのまとまった時間が確保できないからだという現状がある。しかし、日常の細かな休憩時間は多くある。そこで、期限を設けたテスト導入からでも、電子書籍の導入を検討することはできないか。

答 中央公民館長 提案の趣旨や住民サービス向上の観点は重要であると認識しており、今後、段階的な導入の可能性を含め、テスト導入が可能か調査研究していきたい。

子ども議会を終えて（感想）

1番 村山 瑞季（嘉手納小6年）
子ども議会では嘉手納町の課題を考え、実際に議場で質問を行いました。これからも身近な課題を見つけ、私たちの力で嘉手納町をさらに良くしていきたいです。
学びました。この経験を糧に、今後身近な課題に目を向け、行動していきたいです。

2番 玉城 悠（嘉手納小6年）
子ども議会では、自分たちで課題をみつけ、その対策などを自分たちで考えたりして議会をしました。これからもどんな課題を見つけて、よりよい嘉手納町にしていきたいです。

3番 前田 瞬（嘉手納中2年）
子ども議会を振り返って、議員の人たちの立場になって議会の仕組みという貴重な体験ができたことに感謝しています。これからも、私は嘉手納のためにできることに貢献したいと思います。

4番 宮城 稀菜（嘉手納中2年）
実際に議場の席に座り、町をよくするための真剣な議論に触れ、自分の意見が社会に届く大切さを

5番 仲宗根 千心（屋良小6年）
私は、子ども議会に参加する前は、自分の考えを言うことができなかつたけど、参加して実際に質問をして、自分の考えに自信を持てるようになりました。これからも積極的に意見を伝えたいです。

6番 岳原 花菜（屋良小6年）
私が子ども議会でがんばったことは、文章を書くことです。理由は、テーマに基づいた文を書くことが難しかったからです。私は、みなさんの意見を聞いて、色々考える力が身につきました。

7番 川上 湖々（嘉手納中1年）
私は子ども議会を通して嘉手納町の取り組みや嘉手納町の素敵なところをたくさん見つけることができました。子ども視点でしか分からないことをたくさん話し合った貴重な素晴らしい体験でした。

子ども議会を終えて（感想）

8番 山城 凜子（嘉手納中1年）

子ども議会はとても緊張したし準備も大変でしたが、嘉手納のいいところ・課題について深く考えるいい機会だったと思います。子ども議会を通してもっと嘉手納のことが好きになりました。

9番 野里 小幸（屋良小6年）

私は子ども議会を通して、色々な課題について嘉手納町が対策や解決に向けての取り組みを行っているのを知ることができました。子ども議会を通してたくさんの方が知れて良かったです。

10番 比嘉美音莉（嘉手納小6年）

子ども議会を通して、嘉手納町のためにたくさんの方を考えたことができたし、知ることができました。誰かのために何かをすることがとても大変だと、改めて実感しました。

11番 松村 香月（嘉手納小6年）

議会とは1対1で話し合うことを初めて知りました。私は嘉手納町のゴミ問題について質問、解決策を出

しました。本番では2回間違えてしまいました。成功できて良かったです。



12番 大城 紅葉（嘉手納中2年）

子ども議会の議員として、嘉手納町の活性化を提案しました。イベントの質を重視する姿勢や行政の仕組みを学び、多角的な視点を得た経験から、大好きな町のため今後も考え続けます。

13番 宮平 優希（屋良小6年）

今回の子ども議会では挑戦することの大切さを学びました。実行したからこそ得られた気づきや出会いを大切に、これからも様々なことに挑戦していきたい。

14番 齋藤 千紗（嘉手納中1年）

現在嘉手納にある課題を考えたり調べたり、文章を考えたりと一から行うのがとても大変でしたが、それに伴い普段学べないことを学ぶことができてよかったです。

15番 又吉 明（嘉手納中1年）

私は子ども議会に参加していつも大人の議員さんたちは嘉手納町のために町の課題を見つけ、それを改善しようと努力されているんだなと、とてもありがたく感じました。

16番 玉置 愛琉（嘉手納中2年）

私が子ども議会を通して一番成長できたことは、嘉手納町の未来を自分事として考えることです。私たちの想いを伝えることが、嘉手納町の未来へ繋がると実感することができました。

17番 德里 織音（嘉手納中2年）

子ども議会を通し進行役としての責任と言葉が持つ力を肌で感じる事ができました。私たちを支えてくださったみなさまへの感謝と共に良い未来を創るために自分にできることを探していきたい。



編集後記

町制施行 50 周年記念として行われた今回の子ども議会。子ども議員の堂々とした態度や鋭い質問の数々は、見習うべきところがあります。私たちの一般質問と同じ、あるいは関連する事柄もあり、嘉手納町民として共通する多くの問題や課題を目の当たりにしました。

子ども議会を通して、次世代リーダーの育成や発掘に繋がると確信できました。今後も、定期的開催を要望したい。

議会広報調査特別委員会
委員長 伊 敷 猛

●発行・嘉手納町議会 ●編集・議会広報調査特別委員会
〒904-0293 沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納588番地
TEL 098-956-3113 FAX 098-956-3100

基地被害に関する苦情は電話及びLINEで受け付けています。

電話 0800-200-4665
(通話料無料。音声ガイドにて24時間対応)

LINE 嘉手納町公式
LINEアカウント

→ 基地被害苦情110番

